

大商 ニュース

11 2024
/25(月) No.1368

編集発行 大阪商工会議所

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番8号

☎06(6944)6324

定価1部132円(送料共) 購読料は会費、負担金を含む
毎月10、25日発行

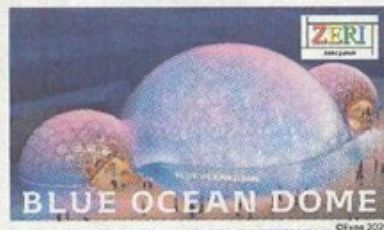
©大阪商工会議所2024

ホームページアドレス

<https://www.osaka.cci.or.jp/>



OSAKA KANSAI JAPAN
EXPO
2025



SARAYAは、大阪・関西万博の
BLUE OCEAN DOMEを応援しています。

大商のがんばる会員さんを紹介します!



アンティーク着物を世界に発信!

ウェイバーズインターナショナル
(北区、片山身和子代表取締役、w
www.shirokuma-kimono.com)は、全

国に眠っている本物の
着物と帯を
外国の方
でも一人で5
分で着られ
るリメイク
商品として
開発、SD
Gsコレク
ションとし
て販売して
いる。

日本文化
の象徴であ
る着物と帯
が多く廃棄
される中、

興味を持つ外国の方が購入しづらい
問題(値段が高い、一人で着ることが
できない)を解決することで、廃
棄物を減らし、日本文化を輸出でき
ると考え開発を決意。生産量は月間
200着を確保、33センチまでの大型サイ
ズの草履も製作している。帯の余り
はバッグに加工し、さらなる廃棄物
削減に挑戦中。海外を中心に販売を
希望している。

何か一緒にできることがある方
は、ぜひご連絡を。(☎6396・8701)



ショールームもあります
ので、ぜひ遊びに来
てください!

大阪らしさと伝統を伝える、新しく
ユニークな菓子づくり



「食べたあとは何を入れよう?」と
ウキウキするパッケージも好評

一創堂(旭区、野村達郎代表、ht
[tps://issoudo.jp/](https://issoudo.jp/))は、大手化学メー
カーに勤めていた野村代表が新しい
大阪土産となるお菓子を作りたいと
創業。かつて門付け芸としてなにわ
の人々に愛された「ちょろけん」を
モチーフに「なにわちょろけんシリ
ーズ」を展開している。「諸国之台所」
と呼ばれた大阪には他の地域との歴
史的なつながりも多く、土佐堀にち
なんで土佐の芋けんぴとコラボさせ
た「ちょろけんぴ」が人気。大阪・
関西万博に向けては、「福助」をモチ
ーフに「大阪万福(おおさかばんぶ
く)」を発売。大阪から万の福と笑顔
を発信したいと願い、職人とつくり
上げた逸品を福助缶に込めた。また、
堺の前田製菓とコラボした「たこ焼
きクラッカー」など地域企業との連
携も精力的に行っている。